

健全化判断比率等の状況

令和6年度

(算定時点:令和7年3月31日)

都道府県名	08 イバキケン 茨城県	団体名	2228 カシマシ 鹿嶋市
比率の状況	実質赤字比率 (早期健全化基準) (%)	—	(12.72)
	連結実質赤字比率 (早期健全化基準) (%)	—	(17.72)
	実質公債費比率 (早期健全化基準) (%)	6.9	(25.0)
	将来負担比率 (早期健全化基準) (%)	37.7	(350.0)

実質赤字比率

区分	決算額(単位:千円, %)
繰上充用額	(A) 0
支払繰延額	(B) 0
事業繰越額	(C) 0
標準財政規模	(D) 15,775,850
実質赤字比率 $(A) + (B) + (C) / (D)$	—

※実質収支が黒字(726,134千円)であるため、実質赤字比率は「—」表示(比率なし)となります。

【参考】実質黒字の程度(比率) 4.60%

連結実質赤字比率

区分	決算額(単位:千円, %)	資金不足比率(単位:%)
実質収支額等	一般会計 (1) 719,967	/
	墓地特別会計 (2) 6,167	
	(3) —	
資金不足額又は資金剰余額	水道事業会計 (4) 2,422,792	—
	下水道事業会計 (5) 313,493	—
	農業集落排水事業会計 (6) 18,742	—
	平井東部土地区画整理事業特別会計 (7) 276,889	—
その他の特別会計	(8) —	—
	(9) —	—
	(10) —	—
	(11) 109,148	—
	後期高齢者医療特別会計 (12) 2,729	—
	介護保険特別会計 (13) 157,956	—
	(14) —	—
	(15) —	—
	(1)～(15)の合計額 (A) 4,027,883	—
連結実質赤字額 $((A) \text{が負の場合の絶対値})$ (B) —		
標準財政規模 (C) 15,775,850		
連結実質赤字比率 $(B) / (C) \times 100$		

※連結実質収支が黒字であるため、連結実質赤字額及び連結実質赤字比率は「—」表示(赤字額及び比率なし)となります。【参考】連結実質黒字の程度(比率) 25.53%

実質公債費比率

区分	決算額(単位:千円, %)	令和6年度の内訳		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
元利償還金の額(繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分並びに特定財源充当分を除く)	(1) 1,783,700	1,725,297	1,719,764	(3)の内訳 決算額(単位:千円)
満期一括償還地方債の1年当たりの元金償還金に相当するもの(年度割相当額)等	(2) 0	0	0	水道事業 0
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	(3) 329,647	354,507	368,233	下水道事業 338,313
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	(4) 71,764	92,290	83,857	農業集落排水事業 29,920
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	(5) 44	24	9	
一時借入金の利子	(6) 0	0	0	
災害復旧費等に係る基準財政需要額	(7) 911,488	829,687	782,502	
災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元利償還金に係るもの)	(8) 273,525	259,515	247,186	
事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費	(9) 52,796	55,652	73,789	
事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費(準元利償還金に係るもの)	(10) 30,151	36,927	29,926	(5)の内訳 決算額(単位:千円)
密度補正により基準財政需要額に算入された元利償還金	(11) 0	0	0	農協系統農業災害資金利子助成 9
密度補正により基準財政需要額に算入された準元利償還金(地方債の元利償還額を基礎として算入されたもの)	(12) 0	0	0	
小計 $((1) \sim (6)) - ((7) \sim (12))$	(A) 917,195	990,337	1,038,460	
標準財政規模	(13) 15,150,872	15,280,609	15,775,850	
(7)～(12)の額	(14) 1,267,960	1,181,781	1,133,403	
小計 $(13) - (14)$	(B) 13,882,912	14,098,828	14,642,447	
単年度実質公債費比率 $(A) / (B) \times 100$	(C) 6.61	7.02	7.09	
実質公債費比率 $(C) / 3$			6.9	

将来負担比率

区分	決算額(単位:千円, %)	左の内訳
年度末一般会計等の地方債現在高	(1) 15,057,297	(3)の内訳 決算額(単位:千円)
債務負担行為に基づく支出予定額	(2) 0	水道事業 0
一般会計等以外の会計の地方債の元金償還に対する一般会計等負担見込額	(3) 3,933,049	下水道事業 3,766,223
組合等の地方債の元金償還に対する鹿嶋市の負担見込額	(4) 1,236,419	農業集落排水事業 166,826
退職手当支給予定額のうち一般会計等負担見込額	(5) 2,684,291	
設立法人の債務等に対する一般会計等負担見込額	(6) 2,883	
連結実質赤字額	(7) 0	
組合等の連結実質赤字相当額のうち鹿嶋市の一般会計等の負担見込額	(8) 0	
年度末充当可能基金現在高	(9) 5,162,539	
充当可能な特定の歳入見込額	(10) 137,703	
地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額	(11) 12,080,068	(6)の内訳 決算額(単位:千円)
小計 将来負担額 $((1) \sim (8)) - \text{充当可能財源等} ((9) \sim (11))$	(A) 5,533,629	公的信用保証に係る損失補償 2,883
標準財政規模	(12) 15,775,850	
災害復旧費等に係る基準財政需要額	(13) 782,502	
災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元利償還金に係るもの)	(14) 247,186	
事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費	(15) 73,789	
事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費(準元利償還金に係るもの)	(16) 29,926	
密度補正により基準財政需要額に算入された元利償還金	(17) 0	
密度補正により基準財政需要額に算入された準元利償還金(地方債の元利償還額を基礎として算入されたもの)	(18) 0	
小計 標準財政規模 (12) - 算入公債費等 $((13) \sim (18))$	(B) 14,642,447	
将来負担比率 $(A) / (B) \times 100$		37.7